

9月15日 老人の日

老後の人生が、明るくゆたかであることは、すべての人々の真実の願いである。



発行 岐阜県加茂郡 東白川村公民館 印刷 今井印刷所



満90才の方へ

知事から 記念品贈呈

九月十五日は「老人の日」として、昭和七年九月十六日から八年九月十五日までに出生した方に対し、社会は...

大平洋戦争が終つて、一度として満二十年の年月が流れました。この二十年、日本国民はこぞつて復興に努力し...

老人の日を迎えて

東白川村長 河田 勘市

老人クラブの結成であつて、私も度々出席いたしまして、一層その感に深くするものであります。村内おとしよりの皆さん、わが村のほまれも高き新築山植える苗木は、千代に栄えむ

高令者ベストテン(8月10日現在)

高令者	ベ	ス	ト	テ	ン	(8月10日現在)
黒淵	桂川	明	6	9	16	91
柳山	桂川	7	11	15	90	90
柏本	安江	8	8	12	89	89
日向	安江	9	4	8	89	89
〃	田口	9	7	10	88	88
〃	安江	9	11	11	88	88
陰地	安江	10	3	13	88	88
上親田	古田	10	6	13	88	88
中通	高井	10	11	13	87	87
大沢	田口	10	12	13	87	87
	いよ	11	8			

以下、順に本村の高令者一〇名の方々を紹介いたします。



老人の日

9月15日

想 無限の力を敬う心

随 越原長寿会長 安江房吉

この世の中には、われわれだけであった。後の世になれの科学では解決できないふしぎな力がつまつていると思ひます。先づ、自分がなげ生きてゐるか、夜ねたものがなげ朝になると目をさましたか、なぜ呼吸するか、更になげ生れたか、なぜ死ぬか、死んだものがなげもとの様にならぬかなどまたなぜ太陽には光と熱があるか、その光と熱は誰れがどうしてつくつたのか……などということ。

昔から、解決できないことは、すべて大きな力をもつ神といふことになる。その通り神とするより仕方がない。

日本では、昔から「神」

と拜む心が生じねばならぬそれで、ただに父母兄弟身内のもに限らず、すべての人に感謝せねばならぬ。そこに「平和」というものが来る。「仲よくする」「親切にする」「ていねいにする」などという美德のすべてが生ずると思ひます。

地域の人たちが明るい住みよい社会にする念願をもつて……という声明をして発足しました。

年一回の総会は、会員が家族の手作りの弁当をもつて一堂に会し、事業報告や会計報告があつてのち弁当がひろげられます。笑いの中にほのぼのとした温さをただよわせて……終りに余興として自分たちで借りた劇映画をみて終る……会員

指さして「あの人はどこの人やえも」ときくおばあさんがいるほどで、いままでも余り会合にも出たことのない会員もあつて、おもしろかつたを連発して帰つて行かれます。

このクラブの主な活動は神社参拜、お墓の清掃、道路の修理、村長さんの村政の話し、一日バス旅行などで、これらの活動の中から時代の流れに順応し、教養をたかめて、余生を家庭や

たかめて、明るく健康で、しかも、愛される老人をめざしての活動が展開されていきます。

この取扱いは、本年九月六日の支払分から行なわれまので、新しい証書と同時に渡した受領証書をあらかじめ受給者又は家族の人が作成して、郵便局の窓口へ提出し、年金の支払いをうけてください。

高砂会の活動

越原上区にはおとしより百十名によつて結成されてある老人クラブ「高砂会」があり、大明神の安江俊一さんが「私の最後の奉公です」といつてはりまきつて會長をやつておられます。

福社年金の支払は、受給者が「福社年金請求書兼受領証書」を郵便局の窓口へ提出することによつて行なわれていますが、本来、この受領証書は、受給権者が記入すべきものでありますしかしながら、受給者が老令者あるいは障害者であるため大部分の者が無記入のまま提出し、郵便局の職員が代筆している現状であります。このため郵便局本来の業務をさまたげている結果となつていきますので、この代書行為をなるべくさげよう郵政省から要望があ

税務署だより

忘れがちな相続税

相続税は、個人が相続や遺贈（遺言によつて財産を与えること）によつて財産を譲り受けた場合にかかる税金です。相続税は、一生に一度のため、所得税などと違つて一般になじみずらく、実際に相続が発生したとき、どれくらい相続財産があれば税金がかかるのかどれくらい額になるのかなどと、まごつくことが多いようです。

ところで、相続財産からの基礎控除額は、 $250万円 + (50万円 \times \text{相続人の数})$

で、この額以上の人に税金がかかることとなります。相続税がかかる財産は、被相続人（死亡した人）が持つていた一切の財産ですしたがつて遺族が受け取る香典や花輪代などは相続財産ではありません。相続財産でなくとも相続財産とみなされて税金のかかるものや逆に相続財産であつても税金のかからないものがあります。くわしいことは税務署へお尋ねください。

【税金がかかるもの】
◎被相続人の死亡によつて受け取つた生命保険金（ただし百万円までは税金がかかりません。）
◎被相続人の死亡退職によつて支給される退職金（ただし五十万円に法定相続人の数を掛けた金額までは税金がかかりません。）

◎相続の開始前三年以内に被相続人から贈与によつてもらつた財産

【税金がかからないもの】
◎墓地や祖先の祭りに必要なもの
◎宗教、慈善、教育などを行なう者が取得したもので、これらの公益事業のために用いられることが確実なもの

老人クラブは敬老会ではない

老人クラブの目的は、現代の社会のなかに生きる老人が、自発的、自主的に仲間づくりをして相互の親しみを深め、助けあいをしつづけあわせに社会のお役にたつようにすることです。

よく一般におこなわれている敬老会は、年一回の会や青年団が主催するお客さんとして招かれますが、老人クラブは自分自身をつくり、会費などをあつて、自分たちの頭を運営していくもので、一切お世話になつていません。

よく一般におこなわれている敬老会は、年一回の会や青年団が主催するお客さんとして招かれますが、老人クラブは自分自身をつくり、会費などをあつて、自分たちの頭を運営していくもので、一切お世話になつていません。

りましたので受給者のみなさんには、この趣旨をご理解の上ご協力下さるようお願い申し上げます。

この取扱いは、本年九月六日の支払分から行なわれまので、新しい証書と同時に渡した受領証書をあらかじめ受給者又は家族の人が作成して、郵便局の窓口へ提出し、年金の支払いをうけてください。

国体へ示そう郷土の良さつよさ

伸びゆく村長運動

岐阜国体まであと五三日、この国体を成功裡にみちびくことが、そのまゝ明日への県民生活の自信と士気につながっています。

いま残された五〇日余りの一日一日を、わたしたち県民は総意と努力を一点に結集し、「伸びゆく県民運動」を力強く推進し、真に明るくつよく美しい地域社会を築きあげたいものです。

さあ！一斉推進に協力

「伸びゆく村、県民運動」の拍車がかけてきてきましも、いよいよ大詰めをむかえたが、わたくしたちは、こゝろ七つの運動の総仕上げの意義ある運動を、真に自らの期間になり、一斉に最後分たちのものとしてつぎの

事項を一人一人が実践し、努力することによつて、より明るい生活をおくりましょう。

【一斉推進運動目標】

- ① 花づくり奉仕活動
各家庭では一坪花だんを、部落では空地などにできるだけ多くの花壇をつくるとともに、商店街等家庭の密集しているところでは、鉢植、箱植など花づくり協力しましょう。
- ② 早起きと軒先清掃運動
各家庭で、早起きを励行して規則正しい生活習慣を身につけ、家の軒先など毎日一〇分以上清掃しましょう。
- ③ 5分前運動
諸会合は開会前5分に集合、閉会5分前に議事を終るようにならなう。
- ④ 電柱、高屏の清掃運動
部落ごとに、各種団体等が中心となつて、毎月一日と一五日に、電柱や高屏などの無届けビラや用済みの広告などを清掃しましょう。
- ⑤ 乗り物の席ゆずり運動
乗り物での老人、幼児または困つてゐる人を選んで席をゆずりましょう。
- ⑥ 乗りに困つてゐる人を選んで席をゆずりましょう。

いよいよきょうから新学期

勉強や運動にまた頑張ろう

たのしかつた夏休みも終つて、いよいよ2学期です。この学期は、3つの学期のうちでもいちばん長く勉強に油ののる時期ですし、気候もよいので、運動や遠足など行事も多い学期です。

この2学期を迎えるにあつて、家庭では、こんな心がまえが必要です。

① まず、夏休みのつかれをなおすこと。とかく夏休みあとのつかれで、夏バテ状態になっている子が多いものです。ですから、まず充分な睡眠と栄養に気をくばつてあげてください。

9月は、勉強よりもむしろ健康を主にした生活を送らせるように心がけてください。

② 整理の習慣をたてなおすこと。長い間の休みでとかくやりつばなしのくせがぬけません。とくに低学年の子は、遊び道具や学用品を、あちこち散乱させがちです。規則的な生活をはじめめるためにも、整理のしつけについて考えてあげましょう。

③ 学力をつけるよい時期です。1学期の成績や夏休みの宿題のできぐあいなど、よく担任の先生や本人と話し合つて、2学期の学習目標を立てましょう。とくに考えなければならぬことは親は勉強を教えるということではなく、自主的な勉強する態度や習慣をつくつてやるのが大切です。



また、頑張りましょう。

青年バレー県大会へ進出



(写真は郡上勢との熱戦)

本村の青年団では、さる七月十一日坂祝中学校でおこなわれた郡上郡青年団球技大会のバレーボール競技で、男子女子ともによく健闘し、どちらもみごと優勝をかちとりました。

ついで、七月二十五日には、加茂郡代表として、美濃市でおこなわれた中濃大会で、郡上郡の代表や美濃加茂市チームと対戦の結果、これまた男子、女子チームともに揃つて優勝

し、中濃地区代表として、晴れのく県大会へのぞむことになりました。

この県大会は、来る五日各務原市で、県下各プロツクから選ばれた代表チームによつて、全国大会をめざしての熱戦が予想されますが、本村の選手たちも、この晴れの大会を目前にひかえ、毎日の余暇を練習にばんでいきます。

なお、本村のこの青年男女バレーチームは、十一月に予定されている岐阜県体育大会にも、加茂郡代表としての出場権をもつておりこんごの活やくが期待されています。

東中バスケット各地で活躍

ことしの中学校体育大会も、秋の陸上競技を残して各種目とも、それぞれ、郡プロック、県の大会をおわりましたが、バレー、バスケットなどに伝統的な強さを誇る東白川中学校では、らしい活躍をしています。ちなみに、同校のことしの主な大会での成績を紹介

5月9日 (中部招待試合)	男子バレー	優勝
	女子バレー	二位
	男子バスケット	優勝
	女子バスケット	三位
6月20日 (濃斐中招待試合)	男子バレー	優勝
	女子バレー	優勝
7月25・26日 (郡中学校体育夏季大会)	男子バレー	優勝
	女子バレー	優勝
	男子バスケット	優勝
	女子バスケット	優勝
7月31日・8月1日 (中濃地区大会)	男子バスケット	優勝
	女子バスケット	二位
	男子バレー	二位

なお、県大会では、男子バスケットが岐阜地区代表の明郷中に、女子バスケットは西濃代表東安中と対戦惜しくも一回戦で敗退、男子バレーは二回戦で恵那地区代表阿木中に惜敗しましたが、県大会へ一校で3チームも進出した東白川中学校の健斗ぶりは、大きくたえられていきます。